



# 企業主導型保育施設 好事例集





# はじめに

多様な保育や保護者へのサポートを実施している企業主導型保育施設が多くあります。

2023年に全国の企業主導型保育施設を対象とした実態把握調査を実施しました。本調査結果から、企業主導型保育施設では多様な保育や保護者のサポートを実施することで、保護者や地域の多様なニーズに応えていることが分かりました。また、より良い保育を実践するため、多くの施設が積極的に自治体との連携や職員マネジメントの取り組みを実施していることも分かりました。

企業主導型保育施設が実践している多様な支援について、具体的な施設の取り組みを通じて、紹介しています。

実態把握調査で判明した企業主導型保育施設の多様な支援を、好事例集として紹介しています。本事例集は、全国の企業主導型保育施設、保育施設の設置法人、保育施設の職員、企業主導型保育施設へ入所を検討している保護者の方に、企業主導型保育施設が実施している多様な支援の一例として知っていただくとともに、企業主導型保育施設の魅力を改めて知る機会となることを期待しております。

掲載施設は、下記7つの指標を選定しています。

1. 仕事と家庭の両立支援
2. 保護者の負担軽減
3. 共同利用の活用
4. 自治体との連携の工夫
5. 多様な子どもの受け入れ
6. 保育内容の工夫
7. 職員マネジメントの活用

## INDEX

---

- 04 企業方主導保育とは／調査結果
- 06 【掲載事例】保育施設 A
- 08 【掲載事例】保育施設 B
- 10 【掲載事例】保育施設 C
- 12 【掲載事例】保育施設 D
- 14 【掲載事例】保育施設 E
- 16 【掲載事例】保育施設 F
- 18 コラム／あとがき





# About Service

## 企業主導型保育事業とは

企業主導型保育事業は、平成 28 年度に内閣府が開始した企業向けの助成制度です。多様な就労形態に対応する保育サービスの拡大を行うことで待機児童の解消を図り、仕事と子育てとの両立に資することを目的としています。企業が従業員の働き方に応じた柔軟な保育サービスを提供するために設置する保育施設や、地域の企業が共同で設置・利用する保育施設に対し、事業主拠出金を財源として施設の運営費の助成が行われています。

こども家庭庁



詳しくは、こども家庭庁ホームページをご覧ください。

# Facts & Figures

## 調査結果

全国の企業主導型保育施設を対象とした実態把握調査から、施設の取組に関する項目を抜粋しました。保護者や地域の多様なニーズに応えるため、企業主導型保育施設は多様な保育や保護者のサポートを実施しています。

### 企業主導型保育事業のメリット

企業が保育施設を設置することにより、企業にとって次のようなメリットを期待できます。

#### Merit 01 多様で柔軟な保育の提供



延長保育、夜間保育、土日の保育、短時間、週 2 日のみなど働き方に応じた多様で柔軟な利用も可能です。保育園と利用者が直接契約することができます。

#### Merit 02 複数の企業による利用も可能



複数の企業が共同で保育園を設置することが可能です。また、他社が設置した保育園を「共同利用」の形で利用する仕組みもあります。これにより、自ら施設を設置せずとも、自社の従業員の福利厚生のために保育施設を完備することができます。

#### Merit 03 企業イメージの向上、優秀な人材採用・確保



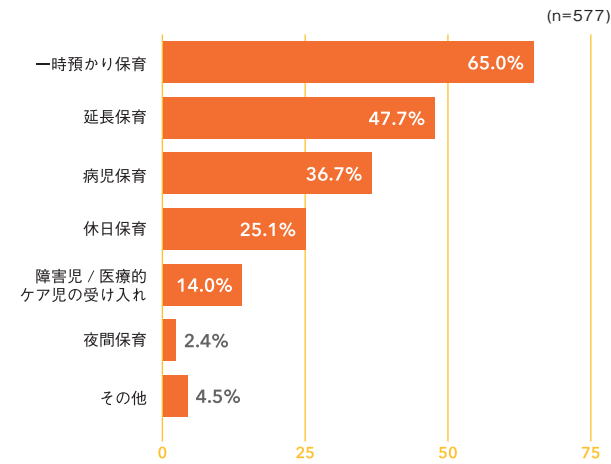
子どもの預け先の確保を企業が行うことにより、企業の魅力が向上し、優秀な人材の採用・確保にとっても、非常に有効です。

#### Merit 04 地域社会への貢献



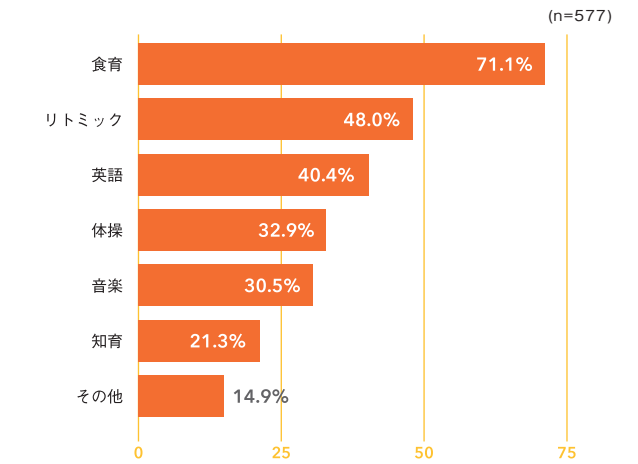
従業員の子どものみならず、地域の子どもを受け入れることも可能です。地域の子どもの受け入れは、待機児童の解消に資するという大きな地域貢献になります。

### Fact 01 施設が取り組んでいる事業内容



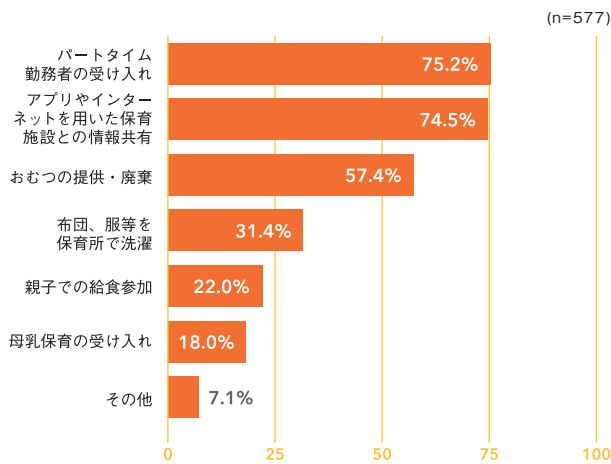
企業主導型保育施設の約 7 割が「一時預かり保育」、約 5 割が「延長保育」などの保育サービスを実施していることがわかりました。

### Fact 02 施設が取り組んでいる活動



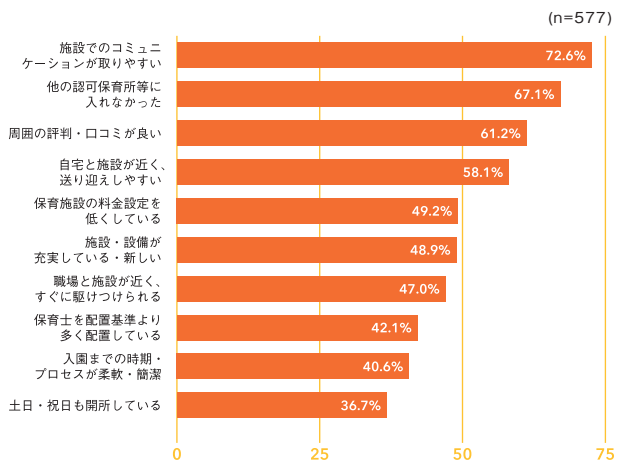
企業主導型保育施設の約 7 割が「食育」、約 5 割が「リトミック」などの保育に付随するサービスを実施していることがわかりました。

### Fact 03 施設が提供している保育以外のサービス



企業主導型保育施設の約 8 割が「パートタイム勤務者の受け入れ」、約 7 割が「アプリやインターネットを用いた保育施設との情報共有」などの保育以外のサービスを実施していることがわかりました。

### Fact 04 施設が保護者から選ばれた理由



企業主導型保育施設の約 7 割が「施設や保育士の雰囲気が良く、コミュニケーションが取りやすい」という理由で利用者から選ばれたことがわかりました。

その他 30% 以下の理由として「早朝や夜間等、平日の開所時間が長い」「防犯・防災対策がしっかりしている」等があげられた。

神奈川県 保育施設 A

障害、疾患のある子どもも  
自立した地域生活を送れるようサポート！

多様な  
子どもの  
受け入れ

保護者の  
負担軽減



保育施設情報

所在地：神奈川県横浜市

設置企業情報

本社住所：神奈川県横浜市  
従業員数：23名  
業種：医療・福祉

Q どのような背景で保育施設の  
立ち上げを行ったのでしょうか？

当施設では、医療的ケア児や内部障害がある子ども等、保護者の就労時間等により認可保育所等への申請が難しい子どもたちを積極的に受け入れています。私の娘は現在小学校に通っていますが、幼い頃から心臓疾患があり、在宅酸素療法をしていたため、保育園探しにとっても苦労しました。同じような疾患がある子どもがいる家族の集まりでも、同様の悩みを抱えている方が多くいらっしゃいました。中には、毎日親が付き添って保育園と一緒に通っているような方もいらっしゃいました。そのような状況を知り、どんな子どもでも通える保育園が必要だと思い、2017年にNPO法人を立ち上げ、どんな子どもでも受け入れ可能な企業主導型保育施設を開設しました。

Q 障害のある子どもの受け入れ  
支援としては、他制度も選択肢として  
あると思いますが、なぜ企業主導型  
保育事業を選択されたのですか？

疾患や障害がある子どもを育てる保護者の多くは、将来的には病気の有無にかかわらず、地域の中で暮らし、子どもに自立してほしいとも願っておられます。そのため、疾患や障害の有無で環境を切り分けるのではなく、子どもとして集団で過ごす保育園の方が地域で暮らし、自立していく手助けになるのではないかと考えました。また、企業主導型保育は保護者の方の就労時間が短くても、子どもの受け入れが可能という点がメリットです。慢性的な疾患がある子どもの保護者はフルタイムで働けない方も多く、働いていないから認可保育所等に入るのが難しいというのが現状です。企業主導型保育はパートのような短時間の就労や求職中でも、子どもを受け入れやすいため、まず、子どもを預けて求職活動を行うなど、保護者の方の就労支援にもつながっています。

Q 保護者の方のサポートとして、  
どのような取り組みをされていますか？

入園のご相談や見学にいらした保護者の方と話している際に、保育園の入園には保護者の方の就労が必要であるということをご説明させていただいております。入園後は、3か月間を求職中として申請してもらい、保護者の方が時短の就労先を探すお手伝いをしております。過去には、保護者の方に当施設の職員として勤務いただいたこともありました。また、在籍期間中に保護者の方が就労先を見つけ、他のご希望の保育園に転園することができた事例もあります。子どもを日中預かるだけでなく、保護者の方やご家族が卒園後も自立した生活を送れるようなサポートを心掛けています。

Q さまざまな疾患を抱えた  
子どもの受け入れ態勢は  
どのようにされていますか？

子どもが抱える疾患の程度やサポートのニーズはさまざまです。それぞれの子どもに状態に合わせて、面談や体験保育などを実施しています。集団保育への参加が難しい子どもについては、体験保育に保護者の方も参加していただき、お子さんと普段どのように過ごされているのか、というのを職員が知る機会を作っています。その後、保護者が普段されている子どもとの生活を職員が引き継ぎ、子どもの受け入れを行っています。企業主導型保育事業の補助金の加算を積極的に活用することで、余裕を持った職員配置を行っております。特に、看護師を多く配置したり、小学校へ入学する際にも引き続き子どものサポートに入れるように学校と調整したり、子どもも保護者の方も安心できるような環境づくりを行っています。

Q 今後の施設の展望について  
教えてください。

今後は、就学前の子どもたちや保護者の方のみならず、施設卒園後の支援も実施できるよう活動の幅を広げ、当施設をハブとした包括的な支援体制を構築していきたいと考えております。また、保護者の方が保育園を選ぶ際に、企業主導型保育施設も選択肢の一つとして検討してもらえるように精力的に働きかけていきたいです。

保護者の声①

子どもに疾患があるので、どこの保育施設に受け入れられるのだろうと不安を抱えていました。受け入れ環境や、関連機関との連携体制も整っているこちらの施設に入ることができ、大変助かっております。



保護者の声②

普段の保育のみならず、子ども食堂等のイベントも積極的に実施されており、子どもや保護者同士の交流も盛んです。また、障害がある子どもの受け入れについては、施設と自治体等がしっかり連携されているようなので、その点でも安心しております。





新潟県 保育施設 B

子育て環境を整備することで働きたいママを応援！

仕事と家庭の  
両立支援

保護者の  
負担軽減



保育施設情報

所在地：新潟県新潟市

設置企業情報

本社住所：新潟県三条市  
従業員数：455人  
業種：運輸業

どのような背景で保育施設の立ち上げを行ったのでしょうか？

当施設は設置法人グループとして7園あるうち2つ目の企業主導型保育施設です。なかでも当施設は、女性社員が多く勤務している弊社の物流センターの敷地内に位置しております。物流センターでは土曜日、日曜日の勤務も多く、3年離職率が100%に近くなることもありました。そのような状況を改善するため、会社として保育施設を設立し、女性の働く環境整備を行ってきました。その結果、保育施設の開設前は1年で3～5名しか採用がありませんでしたが、今では採用に苦労はしておらず、女性社員の離職率も激減しました。

保護者の仕事と家庭の両立支援として、どのような取り組みをされていますか？

職場がシフト制で遅い時間の勤務の方もおられるため、子どもとの時間を優先していただくためにも、登園時間を遅らせることや開所時間を延ばすなど柔軟に対応しております。また、開園当初は日曜日は休園でしたが、日曜日に勤務するため子どもを預けたいという要望があったことや、地域で週末働かれている方もいらっしゃるため、365日開園することといたしました。手ぶら保育についても、開園当初は実施していませんでしたが、保護者の育児負担を軽減するために、何かお手伝いができないかと考え、オムツや布団など保育に必要なものはすべて園で準備しております。他にも、保育料の支払いでキャッシュレス決済を導入するなど、保護者の方の声を積極的に聞き、施設の取り組みとして導入しております。

保護者の方とはどのようにコミュニケーションされていますか？

従業員でもある保護者の方は職場と保育園が同じ敷地内にあるので、行事の参加や昼食を一緒に食べるなど、積極的に交流の機会をもてるように工夫しております。そのような交流を図ることで、子どもに保護者の方のお仕事の様子を見てもらうことができるという環境も保護者の方から喜ばれております。保育園では、保護者と対面で会話ができる機会を積極的に設けるようにして、コミュニケーションをとっております。会社として地域や従業員の子どもを育てようという気概を持っており、困難が起きても会社全体で乗り越えていこうと取り組んでいます。

地域や自治体の保育ニーズはどのように把握されていますか？

市役所には園長が出向いて、情報交換を行い、認可保育園と同じように情報を共有してもらえるように関係構築を図っております。特に、日曜日に開園している保育園は地域でも少ないので、認可保育園と同じように保護者の方に選択肢の一つとして考えてもらえるように働きかけています。実際に、長岡市にあるグループ傘下の保育施設は市のホームページに、認可保育園と並んで定員の状況などを掲載していただいております。その他、企業間でのつながりや地域での口コミを通じて、入園希望のご相談をしてくださる方が多いため、地域枠も設けています。

今後の施設の展望について教えてください。

企業主導型保育施設は保護者の方の声を取り入れやすいなど、制度の強みも感じています。少子化が進み、保育施設も減少する中で、子どもの預け先がなく、保護者の方が仕事をできないという状況もあると思います。今後とも社員や地域の方が働く環境や、生活を整える環境などを支援できる保育園として子育て世代に寄り添いながら特色づけを行っていききたいと考えております。

保護者の声①

365日開所、手ぶら保育という点にとっても助けられています。他にも保護者の声を聞いて、施設を改善していこうという施設全体の雰囲気を感じるのも、先生方ともコミュニケーションをとりやすいと感じています。



保護者の声②

職場と同じ敷地内にあるため、突発的に仕事が入ってしまった時に預かってもらえるのが嬉しいです。また、子どもが体調不良になった際にも、職場の理解もあり、すぐに駆け付けられるので、親子ともども助かっています。





宮崎県 保育施設 C

お家のような環境づくりで  
夜間働く保護者も安心！

仕事と家庭の  
両立支援

共同利用の  
活用



保育施設情報

所在地：宮崎県宮崎市

設置企業情報

本社住所：宮崎県宮崎市  
従業員数：65名  
業種：飲食サービス業

Q どのような背景で保育施設の  
立ち上げを行ったのでしょうか？

夜間も営業している飲食店で働いている方が子どもを預けられる場所が地域に無く、夜間でも開園している保育施設を立ち上げたいと設置法人の代表が考えておりました。当施設は、飲食店の運営をする会社と障害福祉サービスの運営をする会社の代表同士が顔見知りだったことから、共同設置という形で夜間専門保育施設を開設いたしました。  
開所当初は設置法人の社員による利用が多かったものの、飲食店の横のつながりを活かして、共同利用契約を結ぶ飲食店も増加いたしました。学習塾で先生として働かれている保護者の方や、夜間工事現場で働かれている保護者の方にも夜間保育はニーズがあり、地域枠の受け入れもしております。

Q 受け入れている子どもについて  
特色はありますか？

設置法人の一つは、障害福祉サービスの運営を行っています。事業で培った知見を活かして、障害を抱えている子どもや虐待のおそれのある子どもを積極的に受け入れ、保護者の方へのサポートにつなげております。また、そのような子どもの受け入れを行う際には、児童相談所や自治体と密に連携しております。日頃の生活の見守りのみならず、今後の支援方針についても議論しながら子どもの保育を継続しております。  
受け入れている子どもの中には、一人親家庭の子どもも多く、保護者の方の中には生計を立てるために、夜間に仕事をしなければならぬ方もいます。このような家庭への支援の必要性を強く感じていることもあり、夜間保育を実施しております。

Q 保育の質を向上させるための  
取り組みはなにか実施されていますか？

子どもの生活リズムを保護者の方に合わせてしまうと、昼夜が逆転してしまうので、リズムを壊さないためにも、夜はしっかり寝て、朝はちゃんと起きるというリズムを作れるよう心がけております。また、子どもたちには家で過ごしているかのようにリラックスして楽しんでほしいという思いもあるので、アットホームな雰囲気づくりを心掛けています。夜間保育という暗い印象を持つ方も多いため、施設の明るい雰囲気を感じていただくため、SNSで積極的に日頃の様子を発信しております。  
夜間保育専門施設ということで子どもたちは施設で寝ていることが多いですが、事故防止のために、交代制で必ず職員3名体制で見回りを行うようにしております。

Q 通常の保育スケジュールについて  
教えてください。

15時に開園し、翌4時までを基本として受け入れております。4時から6時までは延長保育として運営しております。  
まず、16時からおやつ時間として、その後は各クラスの活動や制作などを行っております。園庭はないので室内遊びとなりますが、近隣に広い公園があるので、散歩をしながら公園で遊んでいます。18時半から夕食をとり、その後一人ずつお風呂に入れています。沐浴室、シャワー室があり、一人15分程度、1時間ほどで全員入ります。その後、0歳から1歳児が20時から20時半の就寝、2歳から5歳児は21時に就寝となります。子どもたちの就寝中(早期)に保護者の方のお迎えがあり、一緒に帰宅という流れになります。

Q 今後の施設の展望について  
教えてください。

現在の施設は物件を借りて運営しているので、将来は、夜間保育専門施設の建物を建て、そこで運営していきたいです。子どもたちの人数を増やしたいというのがありますが、保育施設の面積を広く利用できるようにすることで、より保育の質を上げたいと感じております。  
また、障害を抱えている子どもや虐待のおそれのある子どもは小学生にも多いと思うので、保育以外の児童福祉分野の支援も検討しています。

保護者の声①

保育料が認可保育園よりも安価で、夜間子どもを預けることができるので、安心して働くことができます。また、施設にいる際にお風呂に入れてもらえるので、家で子どもとゆっくり時間を過ごすことができます。



保護者の声②

普通の保育園と同じように、誕生日や運動会などのイベントを実施してくださっていて、子どもも保育施設に通うのが毎日とても楽しそうです。また、SNSで子どもたちの様子も見られるので、それとても嬉しいです。





千葉県 保育施設 D

地域の保育園とのつながりを  
生かした保育の実践！

自治体との  
連携の工夫

保護者の  
負担軽減



保育施設情報

所在地：千葉県市原市

設置企業情報

本社住所：千葉県市川市  
業種：医療・福祉

Q どのような背景で保育施設の  
立ち上げを行ったのでしょうか？

当施設は、設置法人が運営する介護施設の社員の子どもが通う保育園として、開設しました。子どもたちが介護施設の利用者の方へのプレゼントを作ったり、オンラインでの交流会を行ったり、介護施設と保育園で積極的に交流の機会を持つようにしています。  
近年は核家族化が進み、子どもたちも高齢者と触れ合う機会が減っています。お互いに交流が持てることは、とても良いと感じておりますし、子どもたちにも、介護施設を利用されている利用者のご家族の方にも喜ばれています。対面での交流はまだ実施していないため、今後は子どもたちが介護施設へ訪問したり、より交流を深めることができる仕組みを作ったりしたいと思っております。

Q 保護者の方へのサポートとして、  
どのような取り組みをされていますか？

保護者の方と触れ合う中で、育児に悩んでいたたり、夫婦関係や自身の問題で悩みを抱えていたりする方が多いと感じています。そういった保護者の方が気軽に園に相談できるよう、LINEでの相談サービスを実施しています。保護者の方と、園での子どもの様子を共有して、いつでも相談できる体制を築いています。この取り組みが好評で口コミで地域に広がり、保育支援者や保護者との情報共有の重要性を感じています。また、入園を考えて見学にいらっしゃった保護者の方と積極的にコミュニケーションをとり、その保護者のニーズを把握するように意識しております。保護者の方のニーズによっては、地域にある他の保育施設を紹介させていただくこともあります。

Q 市のご担当者との関係性を  
構築するために、  
どのような取り組みをされましたか？

保育施設がある市原市の保育課へ連絡をとった当初、企業主導型保育施設は管轄外と言われましたが、諦めずに何度も市役所へ足を運びました。顔を合わせるうちに、気軽に話せる良好な関係性を築くことができました。分からないことがあれば周りを巻き込み、試行錯誤を積み重ねていくことが大切だと感じています。  
現在は、定期的に市の担当者との会議を実施しております。年に3回から4回、市原市保育課の責任者や児童相談所の担当者を招き、不適切保育防止などについて話をさせていただいております。会議の議題はさまざまですが、様々な関係者を巻き込み、顔の見える関係の構築を積極的に行っております。

保護者の声①

先生方が SNS で子どもたちの普段の様子を共有してくださるため、どのように過ごしているのか、リアルタイムで分かって嬉しいです。また、先生方に気軽に連絡をとることができるため、その点でも安心して通わせています。



Q 保育の質を向上させるための  
取り組みは何か実施されていますか？

当施設で実施している保育が常に正しいと思込んでしまわないよう、他の保育園や市と連携し、勉強会を行うことで視野を広げることを意識しています。  
施設がある市原市では、小規模保育部会（内訳は企業主導型保育施設9園、事業所内保育所1園、小規模保育所15園）というものを作り、加盟施設間では積極的に情報共有をしています。定期的に加盟施設の管理者が集まり、勉強会を行い、企業主導型保育の制度を教え合うなどしております。当施設では、そこで学んだことを施設内の勉強会で再度共有するように工夫しています。  
勉強会や情報共有の際に出た意見を集約して、市や児童育成協会に報告をすることもあります。

Q 今後の施設の展望について  
教えてください。

引き続き企業主導型保育施設として運営し、もっと園庭が広い保育施設を作りたいです。企業主導型保育施設は入園希望の子ども、保護者の方とのマッチングを施設が行うことができるので、引き続きそのメリットを活用していきたいです。また、介護施設を併設することができたら、より高齢者と子どもたちの交流も盛んになるのではないかと感じています。

保護者の声②

運動会やハロウィンなどのイベントごとに、先生も子どもたちも楽しんで参加しているのが印象的です。イベントの準備や片付けなどでは、先生や他の子どもの保護者の方とも一緒になるので、そこでお話することも多いです。





千葉県 保育施設 E

## 子どもも保護者も見守る保育！

多様な  
子どもの  
受け入れ

職員  
マネジメント



### 保育施設情報

所在地：千葉県市川市

### 設置企業情報

本社住所：千葉県市川市  
従業員数：136人  
業種：医療・福祉

### Q どのような背景で保育施設の立ち上げを行ったのでしょうか？

法人の立ち上げは、団体代表の父が始めた個人塾がきっかけでした。そこで、学びの難しさを抱えている子ども達がいることを知りました。その子どもたちの学びを支えるため、グループでの創作活動を行うのではなく、1対1での支援を行うという枠組みで放課後等デイサービスの運営を始めました。その後、団体の活動を続けている中で、当時の待機児童数が全国の市区町村の中でワースト4となり、市川市の課題としても認識されていましたので、保育施設が足りないなら作ろうと思い、企業主導型保育施設の立ち上げを決めました。自営業やパートなど、認可保育園に入りにくい世帯も受け入れやすい保育園であり、また、看護師による職員研修を毎年行っており、発達の遅れがある子どもも受け入れができる体制を整えています。

### Q なぜ保育施設の中でも、企業主導型保育施設を設立されたのでしょうか？

まず、待機児童のニーズに迅速に応えるため、認可保育園より企業主導型保育施設の方が迅速に立ち上げることができた、ということが大きいです。また、入園手続きでは、市に申請する認可保育園では最低2か月前に申請しなければならないところ、企業主導型保育施設は、市を通さずに直接手続きができることで、急な転勤等による引越しのケースや、子育ての困難や保護者の疾病などで、急いで入園を希望しているケースに応えることができるメリットがあります。さらに、育休の取れないフリーランス、パートの方は、認可保育園への入園が難しいのが実情ですが、そういったご家庭のニーズにも応えられるメリットも感じております。

### Q 職員の募集・育成はどのようにされていますか？

紹介業者の方から選考することが多いですが、法人の中での異動や園の知人を介しての紹介、卒園した子どもの保護者の方が就労して下さった例もあります。人材育成としては、キャリアアップ研修など外部の研修を積極的に受ける以外に、内部の研修も行っています。年2回、外部の保育士を招いて現場観察をしてもらい、気づきを保育士みんなで一緒に考える機会を持っています。2か月に1回は個別ミーティング、年2回は人事面談を行い、自分が今できていることや改善点、今後挑戦したいことなどを話し合っております。毎月定例ミーティングを行い、常勤職員、非常勤職員ともに、保育室での課題共有、気になる園児の対応について話し合いなどを行っています。

### Q 保育の質を向上させるための取り組みはなにか実施されていますか？

園児一人一人がのびのび、生き生きと過ごすことができるような保育環境を整えることを大事にしております。一人一人の園児に担当の保育士がつき、担当の保育士がその子の成長を見守りながら、離乳食や排せつ、遊びなどの段階について、クラスの保育士全員と共有して、その子のペースにあわせた対応を行っています。また、保育士が保護者と「子育てのパートナー」として、相談しやすいフラットな関係を築くことに尽力しております。保護者交流会では、保護者同士の結びつきを深めたり、情報交換ができる場づくりを意識しております。趣味や価値観が合う家族同士のつながりができ、卒園後も相談できる相手ができるようサポートしています。

### Q 今後の施設の展望について教えてください。

0歳～2歳の園児が対象のため、幼稚園との卒園児受入れの提携も進めていますが、3歳から5歳までの園児を受け入れる保育園に展開することや、卒園児が立ち寄れる居場所の展開、就労以外の子育て世帯への子育て支援も行えるような施設への展開も視野に入れて検討しています。法人内の別事業所との協力や一般の方も利用できるような複合施設への展開も検討しています。0歳クラスの4月入園希望者が、認可園を含めて市川市内で少ない中、余裕活用型保育制度を利用して受け入れを行っておりますが、保護者の負担が大きいと、余裕活用型保育制度の向上や、こども家庭庁主導で進んでいる「こども誰でも通園制度」の空き枠利用などが進むとよいと期待しています。

### 保護者の声①

入園の相談をさせていただいた際に、先生方が親身になって一緒に考えてくださり、とても嬉しかったです。同じ法人が認可保育園も運営しているため、受け入れの際も柔軟に対応できるのがこの施設のいいところだと思います。



### 保護者の声②

保護者と先生方との距離が近いのがこの施設の特徴だと感じています。子どもとの関係構築だけでなく、保護者も巻き込んでいきたいという意識を感じます。子育てや地域のことについて気軽に相談することができるので、嬉しいです。





宮城県 保育施設 F

# 保育士も子どもも “わくわくドキドキ”しながら 楽しめる新しい保育のかたち！

保育内容の  
工夫

職員  
マネジメント



保育施設情報

所在地：宮城県仙台市

設置企業情報

本社住所：宮城県仙台市  
業種：医療・福祉

Q 独自の教育の取り組みを始めるに至った背景を教えてください。

少子化が進む昨今、保護者が保育園を選ぶ時代になります。選ばれる園になるためには、子どもを預けるだけでなく、子どもを通わせたいと思える、保育にプラスするものが重要だと考えました。これからの時代に必要とされる資質・能力を育むための科学教育プログラムは、ただ単に科学の実験遊びではありません。実験の答えをつくらず、保育士も子どももわくわくドキドキしながら、自分なりの答えをみつけていきます。自分なりの答えをみつけるための経緯や、自分なりの答えを見つだすことが、これからの時代を生きるための力になると考え、科学教育を導入しております。

Q 科学教育の導入により、利用児童や保育施設の職員、保育の質にどのような変化がありましたか？

科学教育の導入において、保育士には少しハードルが高いと考えていました。しかし、職員同士で自発的に取り組みに関するミーティングを行うなど、保育士も前向きに取り組んでいます。保育園で実施したことを保護者の方にも共有することで、家に帰ってもう一度実践するなど、子どもたち自身で興味や関心を高めてくれています。職員が一丸となり、普段の遊びにも科学教育の観点から、子ども主体で動いて、遊ばせるということをキーワードに毎月様々な遊びを導入しています。定員は、科学教育を導入してから満員となりました。教育熱心な保護者も多い地域であり、保護者からも喜ばれております。

Q 施設の質や保育士のスキル向上のため、何か取り組みはされていますか？

科学教育を導入した保育は、プログラムを繰り返しているうちに自然と保育士のスキル向上になる仕組みになっております。日常からひとつの事象に対し、視点を変え様々な視点で物事をとらえることができるようになる仕組みになっており、その様々な視点で物事をとらえることができることで、子どもひとりひとりへの理解が深まり、個性を受け入れ、伸ばすことができるようになります。また、子どもの興味関心を理解し実行するというスピード感のあるサイクルを繰り返すことで、素早く適切な決断を下す能力を高め、変化に対して臨機応変な対応ができるようになり、結果、保育の問題解決能力が向上しています。

Q 科学教育の取り組みについて、他の保育施設や保護者の方から反響はありましたか？

科学教育の導入に興味を持っていただき、認可保育園や他の企業主導型保育施設からの見学希望もあります。イベントのような形で科学教育の導入を検討している方が多いと感じており、今後他の施設での導入のご支援なども積極的に行っていきたいと考えております。科学教育の取り組みを始めるにあたり、保育料の引き上げを少額ですが行いましたが、保護者から保育料に関するネガティブな声はありませんでした。子どもが楽しんで園に通っていることで保護者にも喜ばれております。また、企業主導型保育施設は、ある程度保育内容を理解してから入園を決めることができるので、科学教育の取り組みをきっかけとして入園を決めていただくことも多いです。

Q 今後の施設の展望について教えてください。

今後も保育士と子どもが夢中になり、“わくわくドキドキ”しながら楽しめる新しい保育のかたちをつくっていきたくて考えています。保育士も子どもも、大きく3つ、①「失敗してよかった！」と失敗をポジティブに捉えられるようになること、②様々な視点から物事をとらえられるようになること、③「なんで？」「どうして？」の興味関心が広がり探求し続けることができるようになることを念頭に、保育を思い切り楽しんでいきたいと思っております。また、子どもたちが、これからの社会で求められる創造力、思考力、実践力、自己肯定力の4つの力の土台を育むことができるように、保育の質を担保していきます。そして、子どもからも保護者からも職員からも「選ばれる園」を目指します。

保護者の声①

その日施設でどのような取り組みをしたのか、帰宅後子どもがたくさん説明してくれます。普段仕事で忙しくしていますが、科学教育の取り組みはとても興味深く、家庭での会話のきっかけになっていると感じています。



保護者の声②

施設見学に伺った際に、施設で楽しそうに取り組んでいる子どもの様子を見て、ぜひうちの子にも通ってほしいと思いました。保育料も近隣の認可保育園より低く設定されており、その点も良いと感じます。





## Column コラム

企業主導型保育事業が発足して9年目を迎えようとしています。この8年の間に、全国の待機児童数は大幅に減少し、保護者がより安心して働ける環境が整いつつあります。社会全体から見ると待機児童の解消は、児童にとって、保護者にとって、そして社会にとってメリットでしかありません。一方で、運営者側からすると定員割れや、場合によっては休廃止など、決して良いことばかりではないとも言えます。そのため、これからは「選ばれる施設運営」が求められています。

この紙面で紹介されているのは全国約4,500施設のうちのごく一部の事例に過ぎません。全国には同じように、日々、児童がより豊かに生きていくことを第一に考え、それぞれの理念を体現しながら、保護者のニーズにも応えるべく、様々な取り組みを実践されている保育施設が数多くあります。「質の高い保育」は保育従事者全ての願いです。この事例集が皆様の願いの実現のための一助となれば幸いです。

企業主導型保育施設は、企業の福利厚生の一環として誕生しました。しかしいまや、柔軟な保育サービスを提供できる、地域に根差した「子育ての拠点」として、ますます重要な存在となっています。今後も、保育の質の向上や地域との連携を強化し、子育て支援に貢献していくことでしょう。全国の企業主導型保育施設が、これからも安心・安全な保育を実現できるよう、私たちも、企業主導型保育施設の運営に携わる皆様と共に考え、歩み続けます。

公益財団法人 児童育成協会



## あとがき

本事例集は、企業主導型保育施設の実態について、少しでも多くの方に知っていただくことを目的として作成いたしました。

作成に当たっては、企業主導型保育施設のスタッフや経営されている方など多くの方にお話をお伺いし、企業主導型保育施設の強みを生かした施設運営、企業だからこそ出来る取組など、様々な子どもたちの居場所としての取組など、企業主導型保育施設だからこそ可能な取組をお伺いし、新たな気づきを得ることが出来ました。

企業主導型保育施設は、認可外保育がゆえに、利用者の募集が難しいという声も聞きますが、本事例集に掲載させていただいた施設のように、保護者や地域のニーズに合わせた取組・工夫を行うことで、多くの利用者から選ばれるということがわかりました。

本事例集の作成にご協力いただいた企業主導型保育施設の皆様に心から感謝するとともに、本事例集が、今後の企業主導型施設の発展の一助になることを願います。



「企業主導型保育事業における地域の課題対応に関する調査研究」検討委員会座長

洗足短期大学 教授

井上 真理子





こども家庭庁

<https://www.cfa.go.jp/policies/kokoseido/ryouritsu/#hoiku>



令和5年度子ども子育て支援調査研究事業「企業主導型保育事業における地域の課題対応に関する調査」成果物

**PwC コンサルティング合同会社**

<https://www.pwc.com/jp/ja/about-us/member/consulting.html>

© 2024 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details.